

デジタルを、未来の 鼓動へ。**DIGITAL** HOLDINGS

株式会社デジタルホールディングス
2023年通期決算概要

INDEX

1 | 2023年通期業績概要

2 | 歩みとこれから

3 | 中長期展望に向けた2024年の取り組み

4 | 2024年通期連結業績予想

5 | Appendix

1 | 2023年通期業績概要

2023年通期連結業績概要

2023年通期連結業績概要

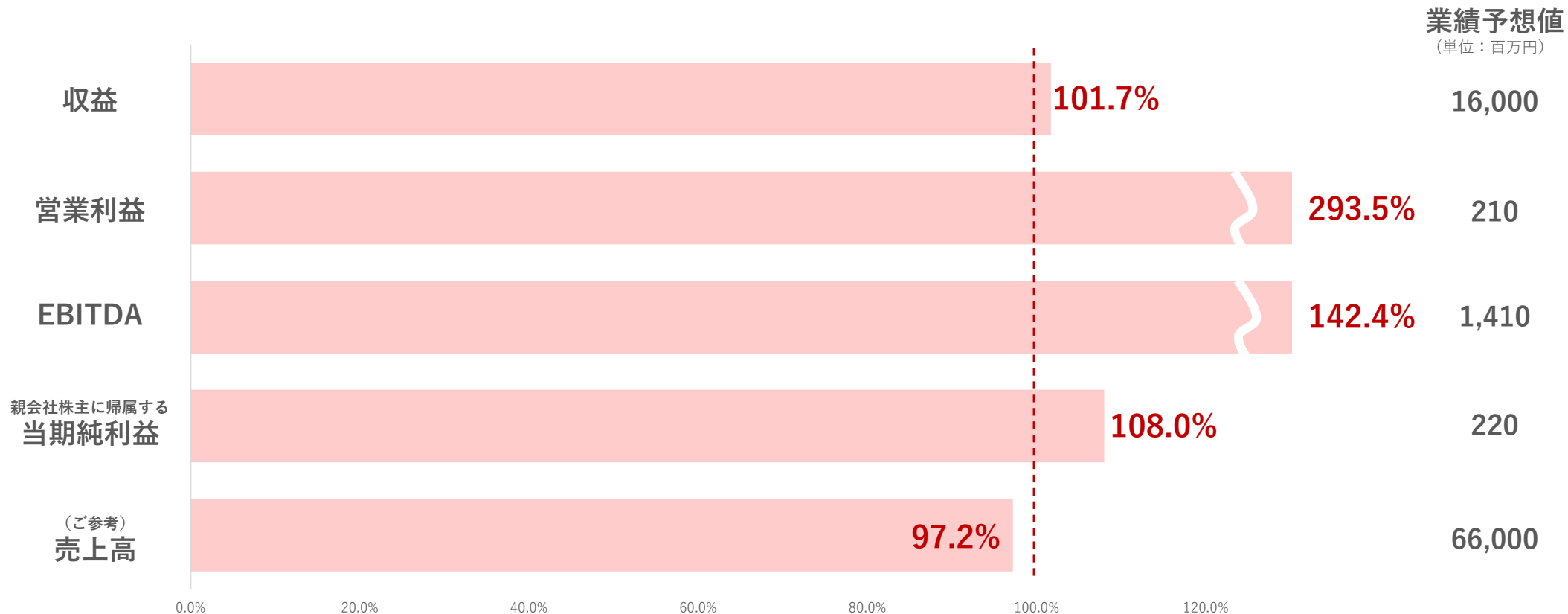
(単位：百万円)	2023年Q4			2023年通期		
	実績	調整後 前年比 *1	調整後 前年実績	実績	調整後 前年比 *1	調整後 前年実績
収益	4,595	+13.8%	4,039	16,264	+4.9%	15,503
売上総利益	2,720	+41.6%	1,921	10,948	+9.3%	10,019
営業利益	227	-	(949)	616	-	(354)
EBITDA	1,127	+647.6%	150	2,008	+82.3%	1,101
親会社株主に帰属する 当期純利益	(138)	-	(197)	237	-	(212)
ROE(LTM) *2*3	0.80%	-	-	0.80%	-	-
フリーキャッシュフロー	-	-	-	(4,708)	-	-
EPS (円)	(7.93)	-	-	13.61	-	-
(ご参考) 売上高	16,994	(6.1)%	18,099	64,170	+1.0%	63,560

*1：2022年Q2からの連結範囲変更に伴い、同基準で過去遡及した前年実績に対する前年比を表記（連結範囲変更についてはP50）

*2：ROE=親会社株主に帰属する当期純利益(LTM) ÷ 算定期間中の自己資本期首期末平均

*3：LTM=Last Twelve Months(直近四半期末から過去12ヶ月)

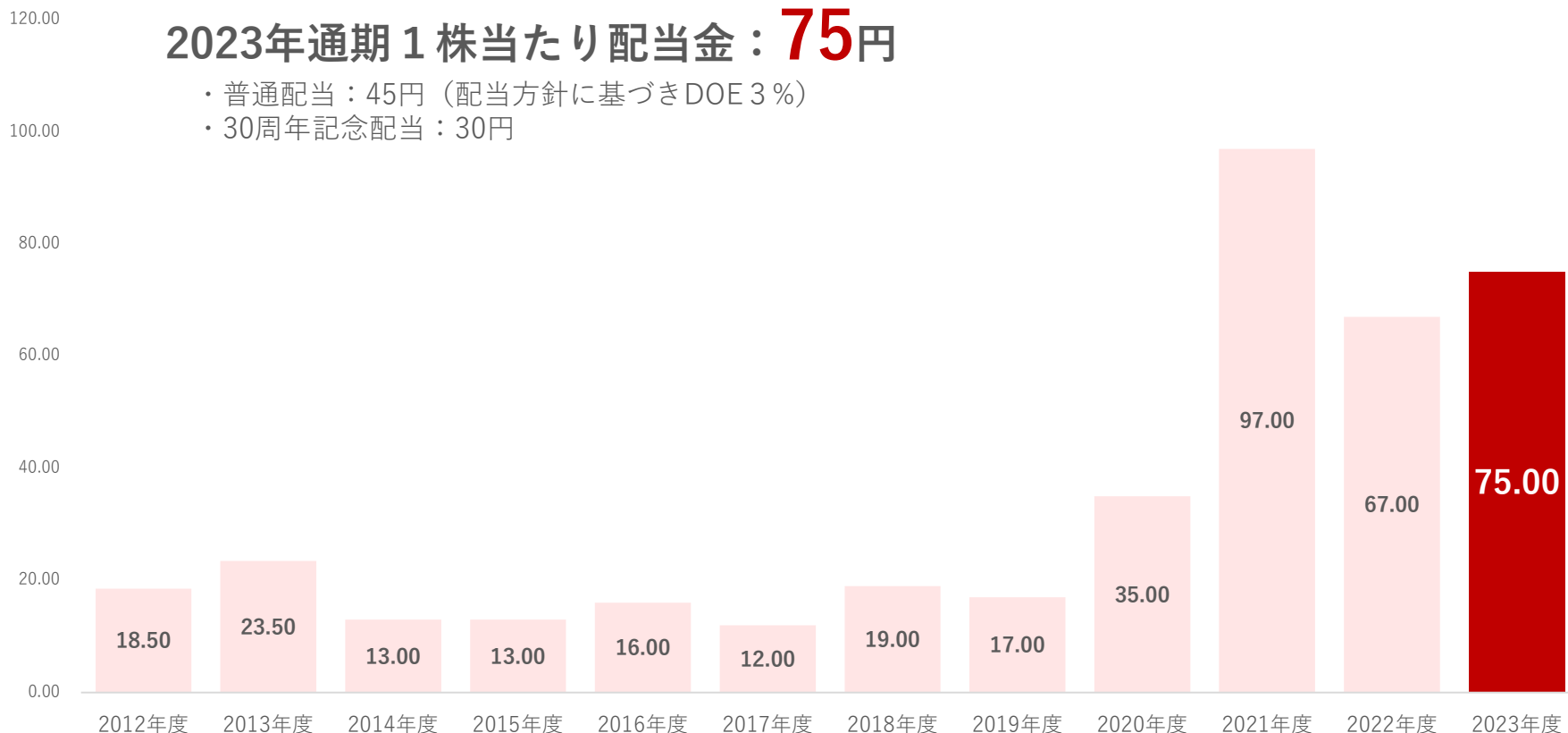
金融投資事業が想定以上に好調に進捗、利益項目全てが業績予想を上回り着地



配当方針

- 安定かつ持続的な配当と、金融投資事業等による業績上振れ時にもしっかりと還元することで資本コストを意識した企業価値向上に繋げる
- **DSイノベーション2023最終年度の2023年及び次期3ヵ年（2024-2026年）においては、原則として「のれん償却前親会社株主に帰属する当期純利益20%」又は「DOE 3%」*のいずれか大きい金額を採用**

(単位：円)



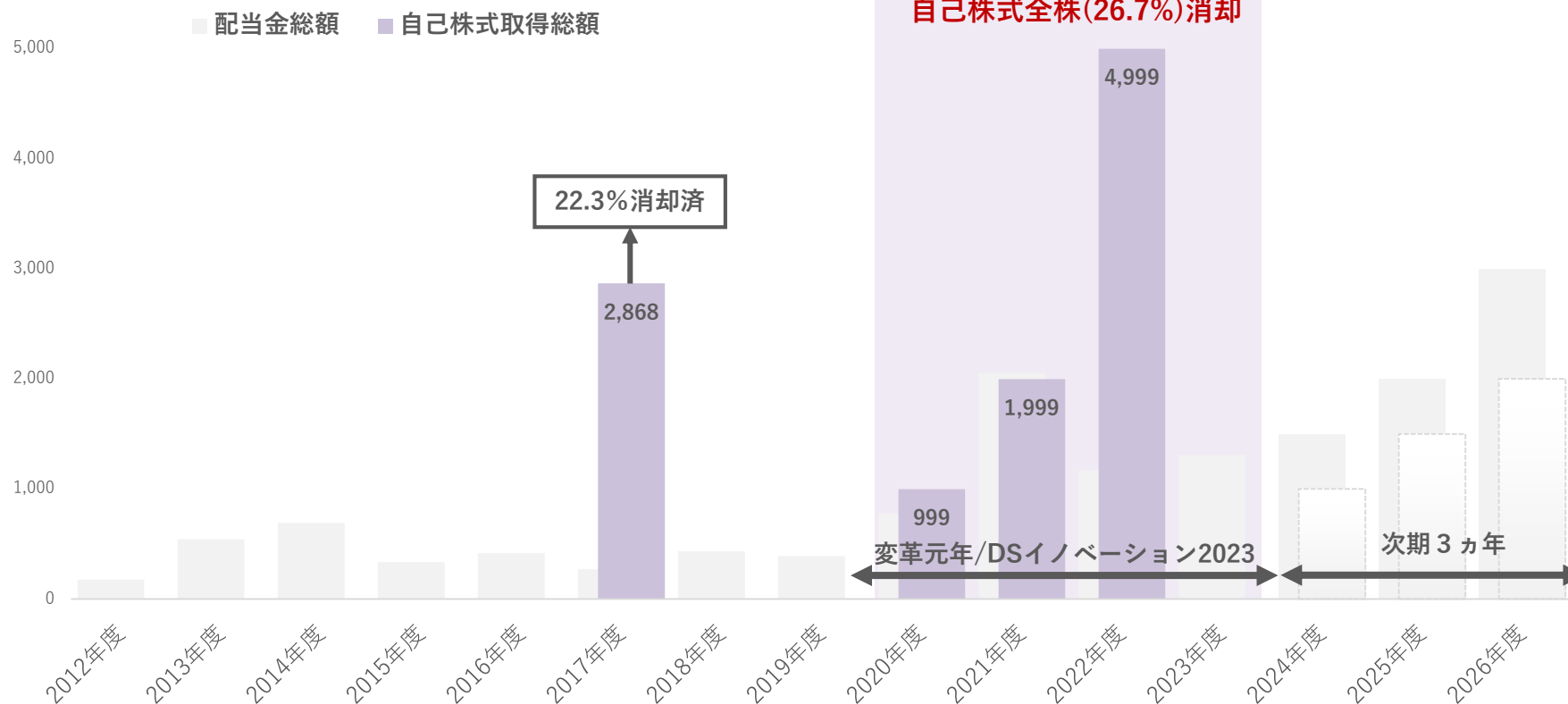
*株主資本配当率（DOE：Dividend on equity ratio）：年間配当総額÷株主資本×100（%）

自己株式 基本方針

- DSイノベーション2023の3年間は機動的かつ柔軟な株主還元施策方針に基づき、自己株式取得を実施
- 変革元年からDSイノベーション2023期間（2020年-2023年）に取得した自己株式は、期間中の活用を慎重に検討した上で、全株式を消却
- 次期3ヵ年も基本方針に則り、機動的かつ柔軟に取得を検討

株主還元総額

(単位：百万円)



2023年通期事業別業績概要

事業ポートフォリオ



事業整理等が順調に進捗し販売管理費抑制、営業赤字幅縮小

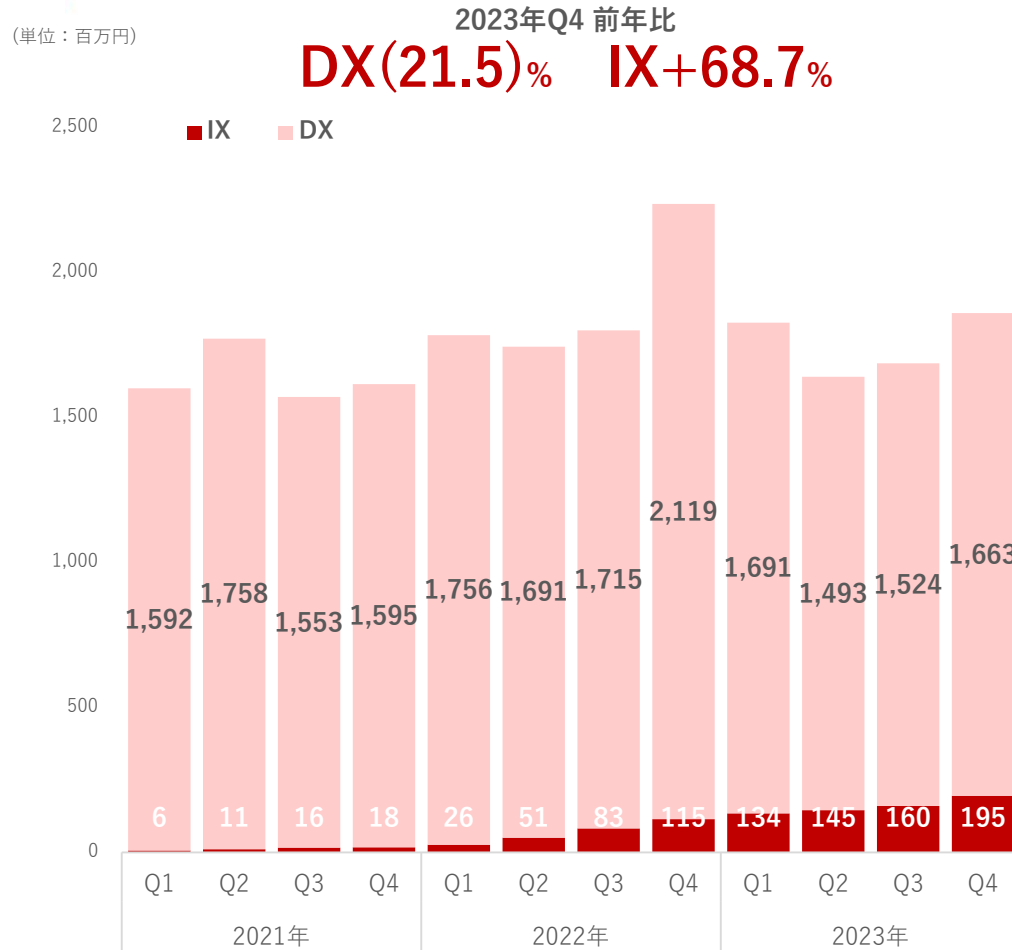
(単位：百万円)	2023年Q4			2023年通期		
	実績	調整後 前年比	調整後 前年実績	実績	調整後 前年比	調整後 前年実績
収益	1,207	(6.5)%	1,290	4,538	(0.5)%	4,561
売上総利益	486	(7.1)%	523	1,575	(4.2)%	1,645
販売管理費	(621)	+15.7%	(737)	(2,394)	(5.5)%	(2,269)
営業利益	(135)	-	(214)	(819)	-	(624)
EBITDA	201	-	(186)	(347)	-	(547)
(ご参考) 売上高	1,857	(16.9)%	2,235	6,990	(7.2)%	7,534

* 調整後：2022年Q2からの連結範囲変更に伴い、同基準で過去遡及した前年実績に対する前年比を表記（連結範囲変更についてはP50）

* 営業利益/EBITDA：HD管理コスト配賦前数値

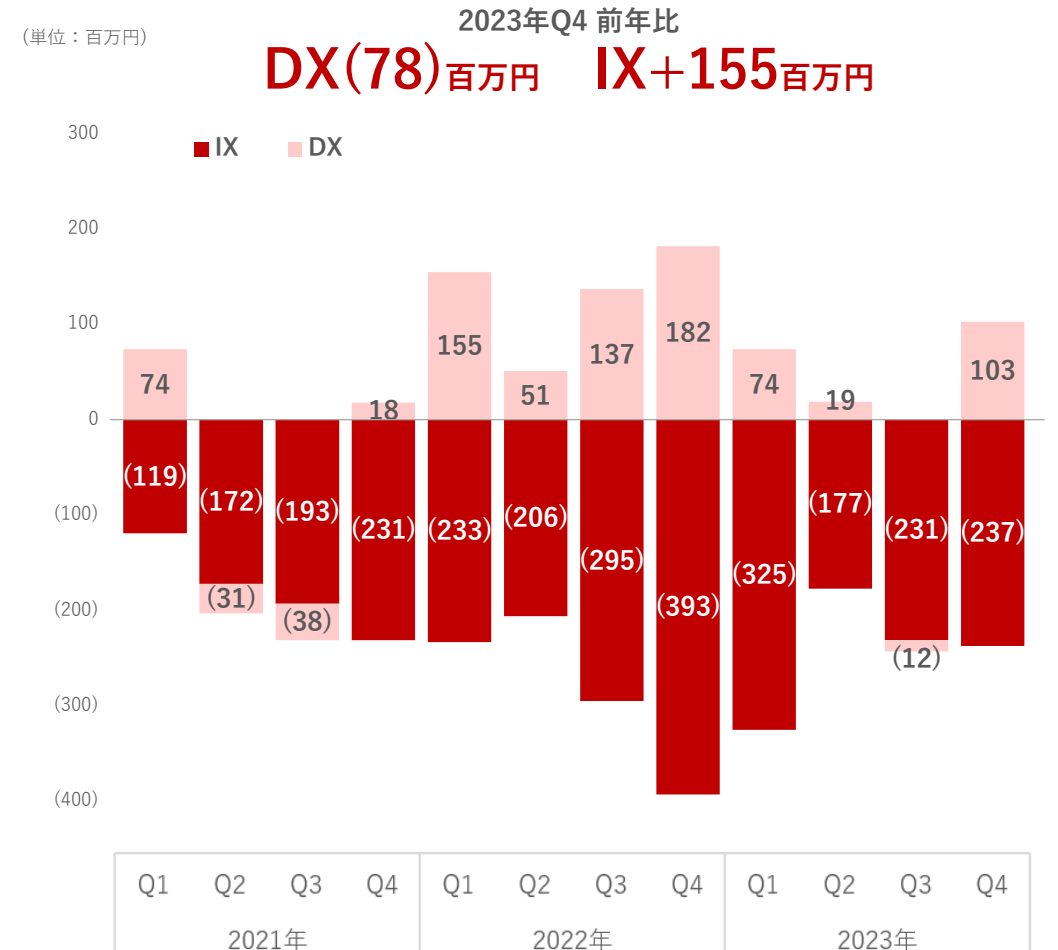
* DX：Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）

売上高



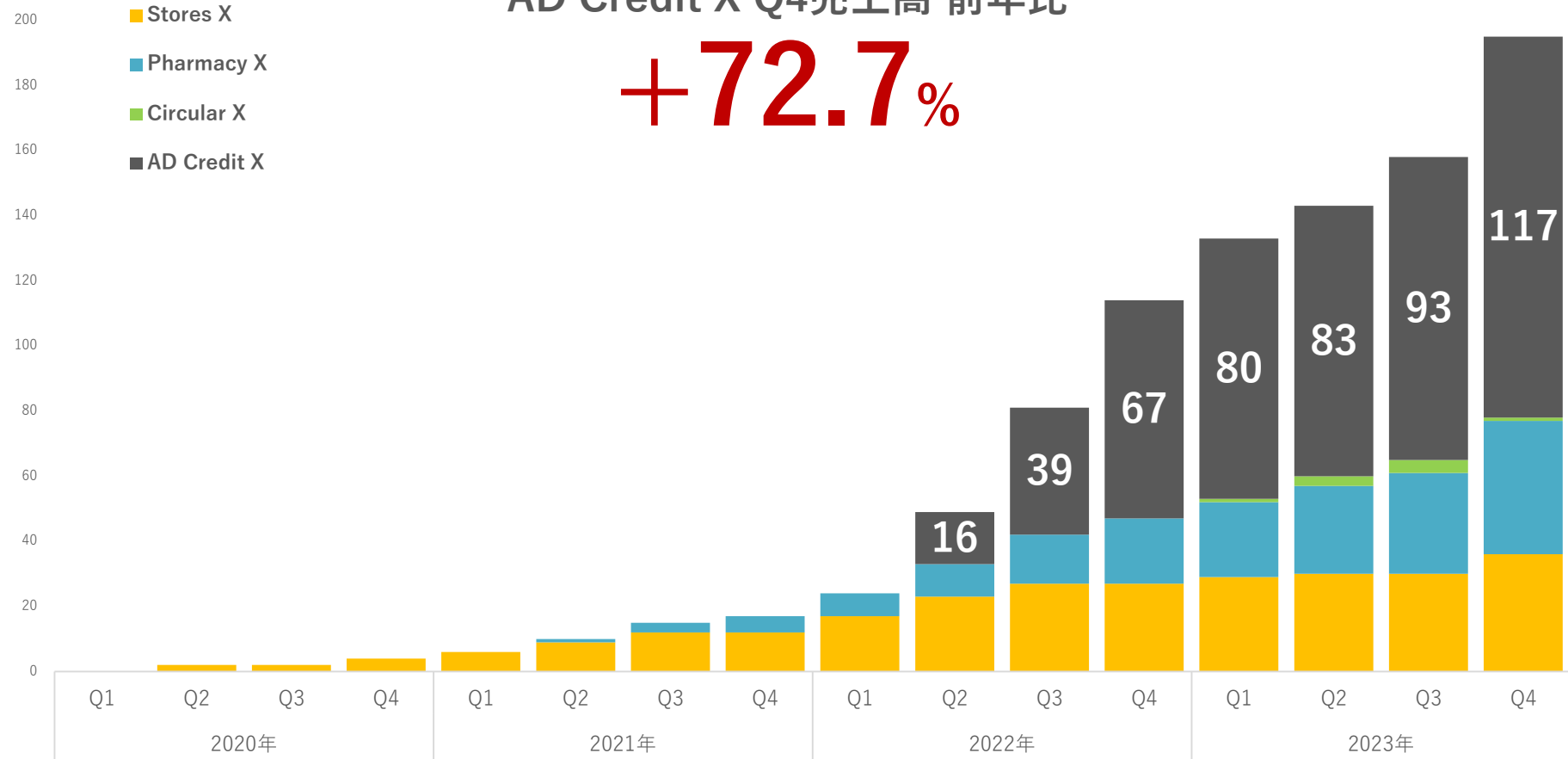
*セグメント内消去考慮前数値
 *DX：Digital Transformation（デジタルトランスフォーメーション）
 *IX：Industrial Transformation（産業変革）

営業利益



IX 四半期売上高推移

(単位：百万円)



AD Credit X Q4売上高 前年比

+72.7%

* IX : Industrial Transformation (産業変革)
 * Stores X : Stores Transformation (有店舗事業産業のデジタルトランスフォーメーション)
 * Pharmacy X : Pharmacy Transformation (調剤薬局産業のデジタルトランスフォーメーション)
 * Circular X : Circular Transformation (循環型産業におけるデジタルトランスフォーメーション)
 * AD Credit X : Credit For Ad Transformation (広告費支払いのデジタルトランスフォーメーション)

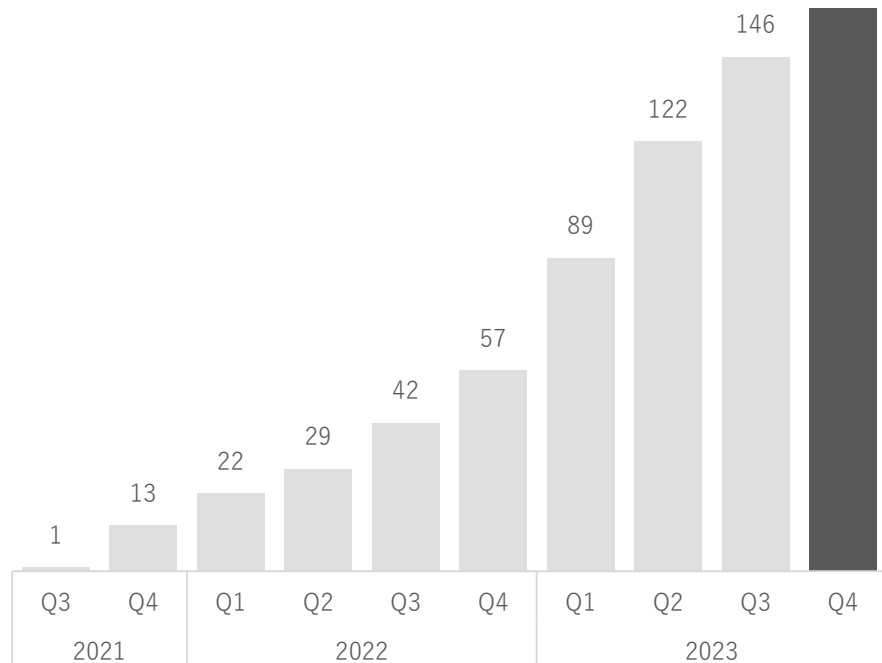
2022年末から1年間で103社増加し累計160社、2023年のGMVは191億円

累計取引社数 ^{*1}

(社数)

2023年Q4前年比
+180.7%

160



PoC期間（ベータ版）

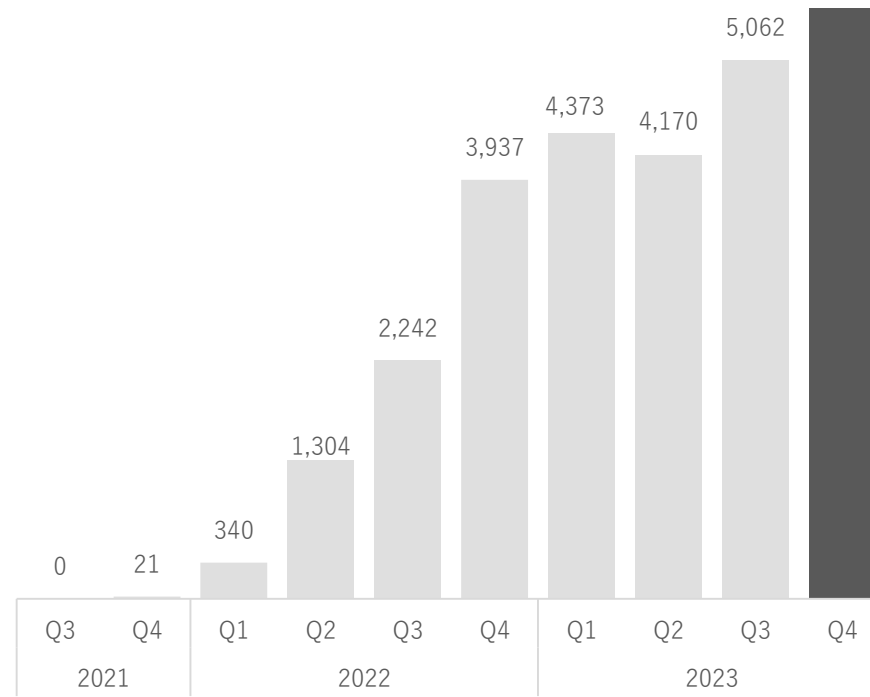
*1：申込みと枠の発行が完了している四半期末時点における累計取引社数

GMV ^{*2}

(百万円)

2023年Q4前年比
+40.9%

5,547

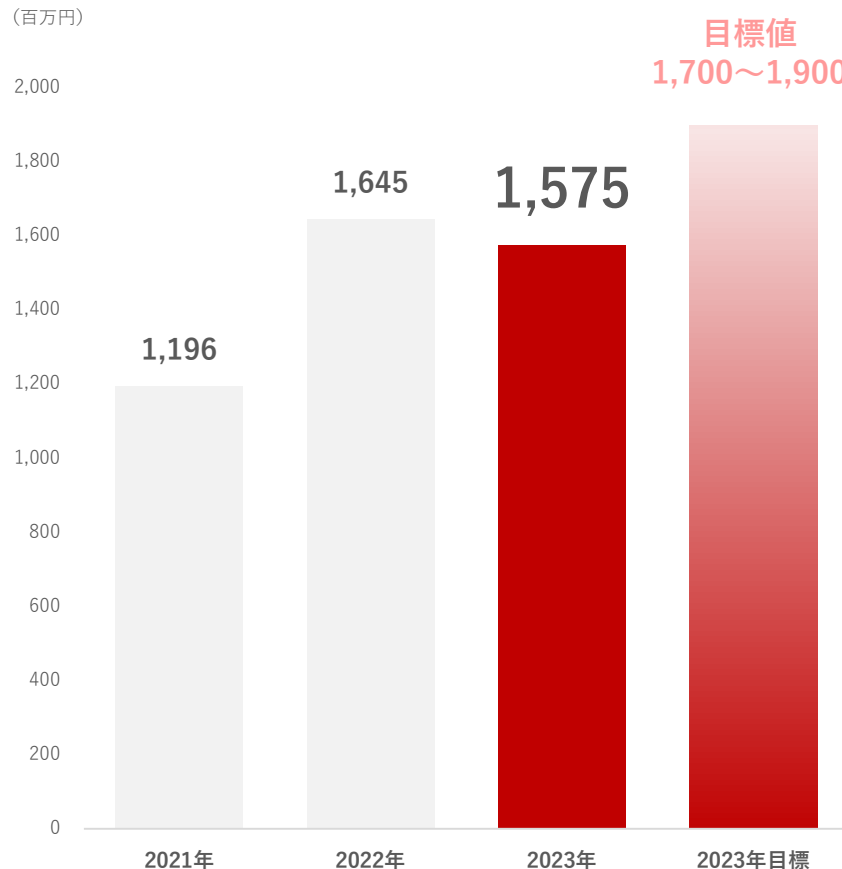


PoC期間（ベータ版）

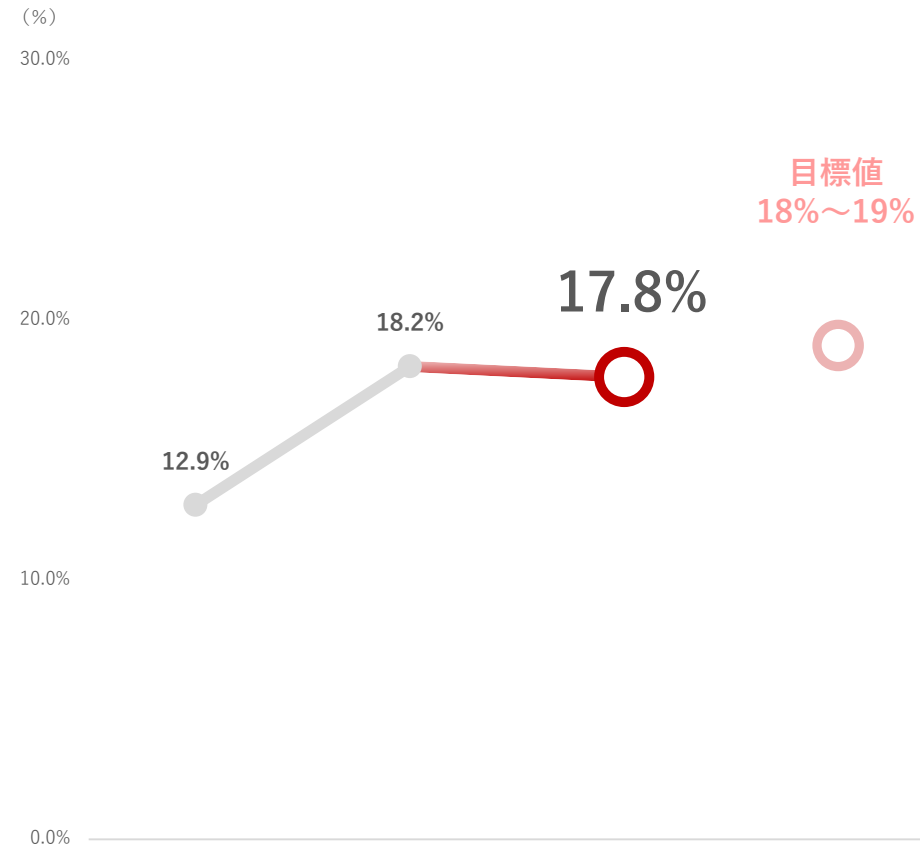
*2：Gross Merchandise Valueの略、YELLシリーズで取引されている総額

DXの新規獲得苦戦により未達成も、事業再編概ね想定通り進捗中、今後は広告×DX提案加速

デジタルシフト事業 売上総利益 *



デジタルシフト事業 粗利構成比 *



* 重要指標：

金融投資事業を除く連結売上総利益と金融投資事業を除く連結売上総利益に対するデジタルシフト事業の売上総利益の割合

過去実績は事業再編に係り2022年Q2から連結除外となった子会社及び金融投資事業を除く数値を表記（連結範囲変更についてはP50） Copyright 2024 DIGITAL HOLDINGS,INC. All Rights Reserved.

2023年通期事業別業績概要

広告事業

デジタル広告支援

デジタル広告支援
ソリューション開発・販売

デジタルシフト事業

DX：個社DX支援

開発・マーケ

IX：産業特化型支援

産業特化型
Vertical
SaaS

AX：
広告産業変革
(BNPL)

金融投資事業

経営・資金支援

ハンズオン型
ベンチャーキャピタル
投資・支援

Q4は特定既存顧客予算縮小により売上高減少も、通期は横ばいで着地

(単位：百万円)	2023年Q4			2023年通期		
	実績	調整後 前年比	前年実績	実績	調整後 前年比	前年実績
収益	2,126	(12.1)%	2,419	8,308	(1.7)%	8,449
売上総利益	1,870	(10.7)%	2,094	7,295	(1.7)%	7,425
販売管理費	(1,242)	(4.2)%	(1,192)	(5,137)	(7.5)%	(4,778)
営業利益	627	(30.4)%	901	2,157	(18.5)%	2,646
EBITDA	665	(29.9)%	949	2,340	(18.2)%	2,859
(ご参考) 売上高	13,871	(10.8)%	15,544	53,758	+0.2%	53,627

* 調整後：2022年Q2からの連結範囲変更に伴い、同基準で過去遡及した前年実績に対する前年比を表記（連結範囲変更についてはP50）

* 営業利益/EBITDA：HD管理コスト配賦前数値

2023年通期事業別業績概要

広告事業	デジタルシフト事業	金融投資事業
デジタル広告支援	DX：個社DX支援	経営・資金支援
デジタル広告支援 ソリューション開発・販売	開発・マーケ	ハンズオン型 ベンチャーキャピタル 投資・支援
	IX：産業特化型支援	
	産業特化型 Vertical SaaS	
	AX： 広告産業変革 (BNPL)	

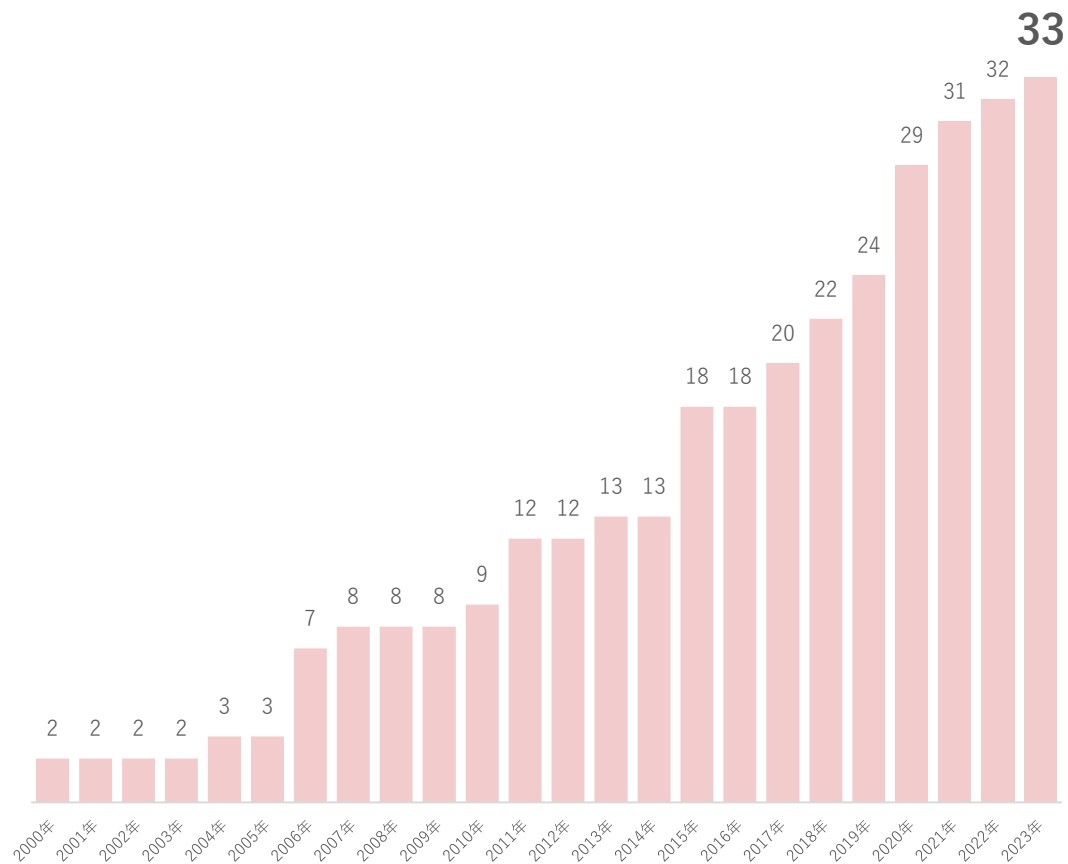
評価損を計上も、グループの成長資金を継続確保

(単位：百万円)	2023年Q4			2023年通期		
	実績	前年比	前年実績	実績	前年比	前年実績
収益	1,296	+255.9%	364	3,529	+36.1%	2,594
売上総利益	377	-	(691)	2,108	+121.1%	953
販売管理費	(53)	(45.0)%	(37)	(162)	+14.1%	(189)
営業利益	323	-	(728)	1,945	+154.7%	763
EBITDA	831	+200.7%	276	2,603	+38.5%	1,879
(ご参考) 売上高	1,296	+255.9%	364	3,529	+36.1%	2,594

* 営業利益/EBITDA：HD管理コスト配賦前数値

IPO累計実績

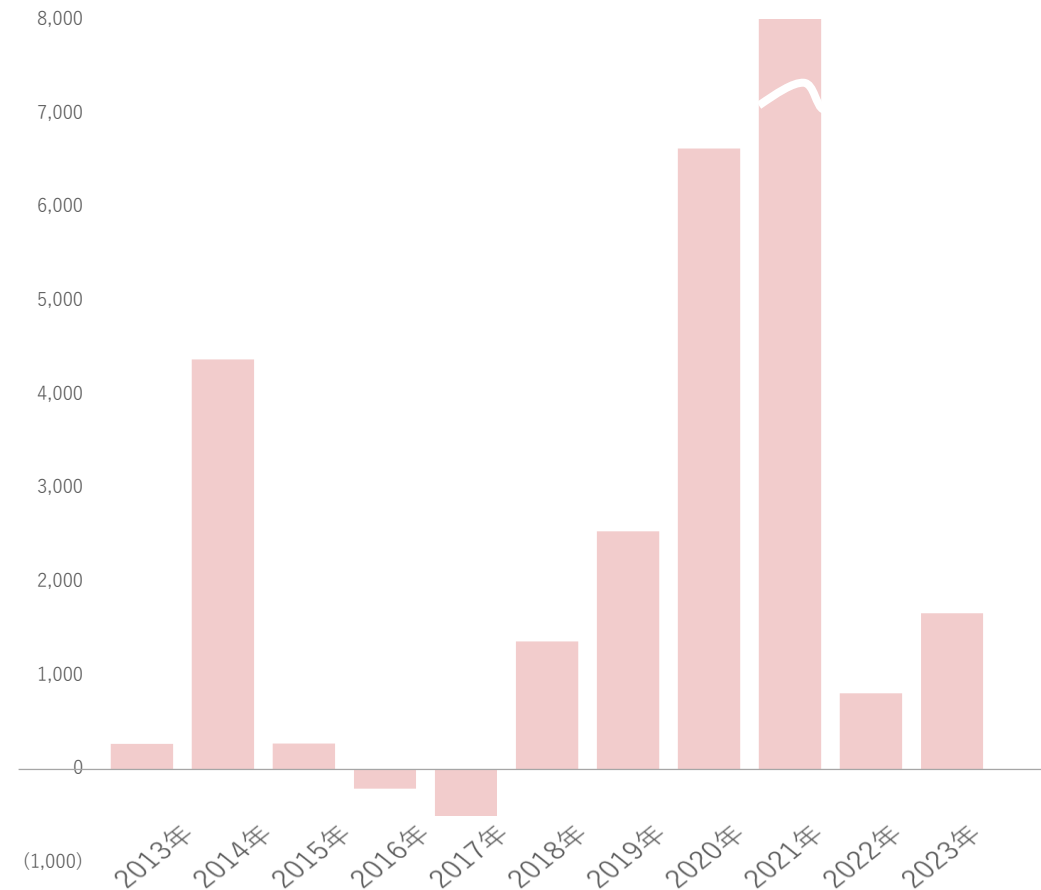
(社数)



事業化後の貢献利益

(百万円)

*金融投資事業の税前利益



2 | 歩みとこれから

新しい価値創造を通じて 産業変革を起こし、社会課題を解決する。

私たちは、デジタルシフトを通じて、
“産業変革=IX：Industrial Transformation®”を目指しています。

当社は、創業以来、成長志向企業の発展に直結する
「独自の仕組み」を提供することで、新しい価値を創造し続けています。

グループ一丸となって産業変革を推進することで、
成長志向企業の持続的発展と、働き手の価値が正当に引き上げられる
日本社会の実現を目指します。

5BEATSの体現者を、私たちは情熱オーナーと呼びます。
デジタルホールディングスでは、新たな価値創造の源泉を「情熱」と捉え、
多くの情熱オーナーの輩出を目指してまいります。



1. 新しい価値創造

企業の永続的存在価値は、常に新しい価値を創造し、社会に提供し続ける事にある。
新しい価値を提供できなければ、減びていくのが自然の摂理。
よって、常に新しい価値を創造し、産業を変革することで、未来社会の繁栄を創造する。

2. チャレンジ（変革し続ける）

世の中のニーズ(社会)は常に変わり続けるので、我々が、提供するサービス(事業)も
常に代わり続けなければならない。最大の失敗は挑戦しないことである。

3. 楽天主義（プラス思考）

新しい価値創造にチャレンジし、常に変革し続けるには、大きな既成概念の壁や抵抗勢力を乗り越えねばならない。
そんな時にできない理由を列挙するのではなく、
「どうすればできるか？」を常に自問自答し、プラス思考で道を切り開いてこそ、道は開ける。

4. 先義後利

先ず義ありて、後に利あり。貢献すれば利益は後から自然とついてくる。
まずは社会のためを考え貢献することを優先する。

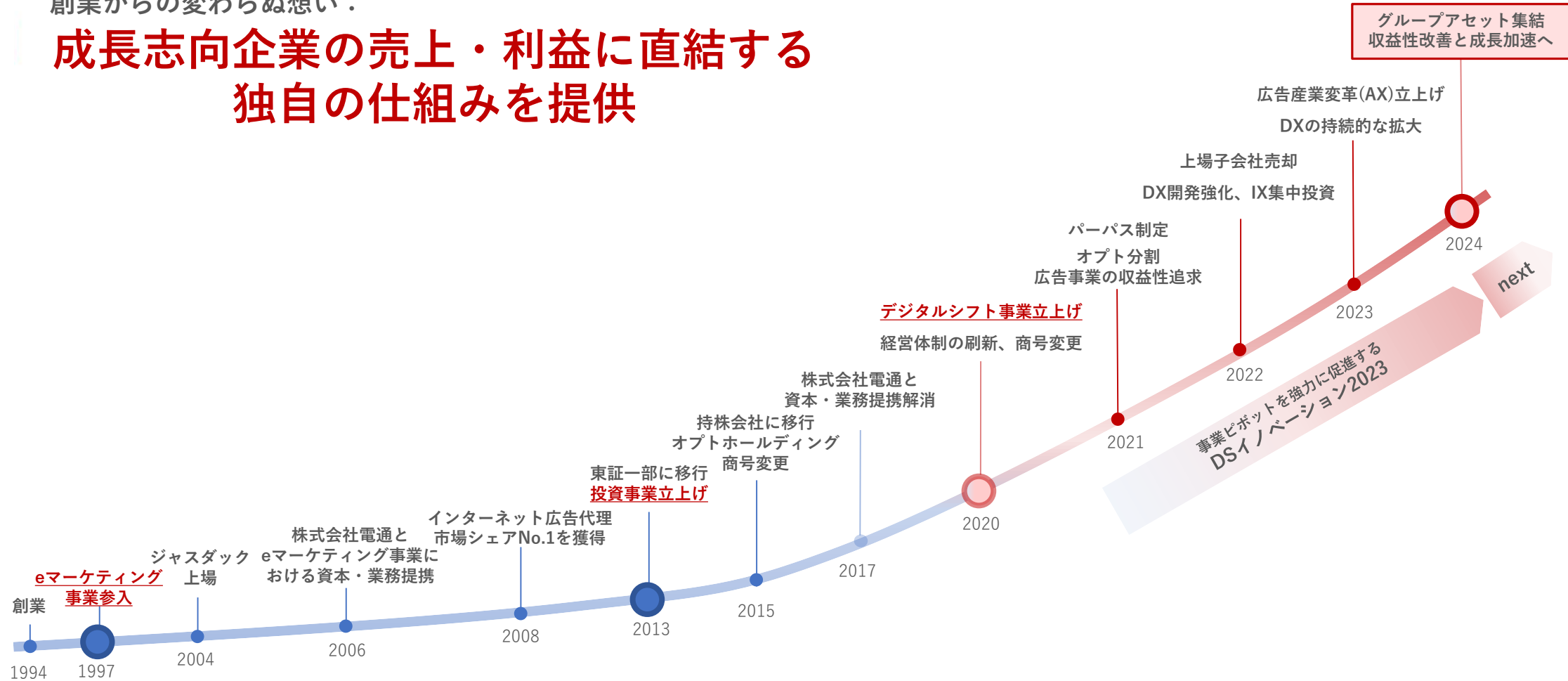
5. 一人一人が社長（社員の幸せ＝自立）

社員の幸せを定義するなら、「自立」とする。職業的にも、経済的にも、精神的にも3つの自立を持って真の自立人材となる。
社員は常に成長意欲を持ち、自己投資し続ける。自発的、能動的にイキイキ働く社員は自ずと幸せとなる。
そのような自立人材の集合体こそ、最強の組織である。会社は社員を従属させる存在ではなく、
社員の成長を後押しする環境を提供するプラットフォームであり、全員がイコールパートナーでありたい。

歩みと変わらぬ想い

創業からの変わらぬ想い：

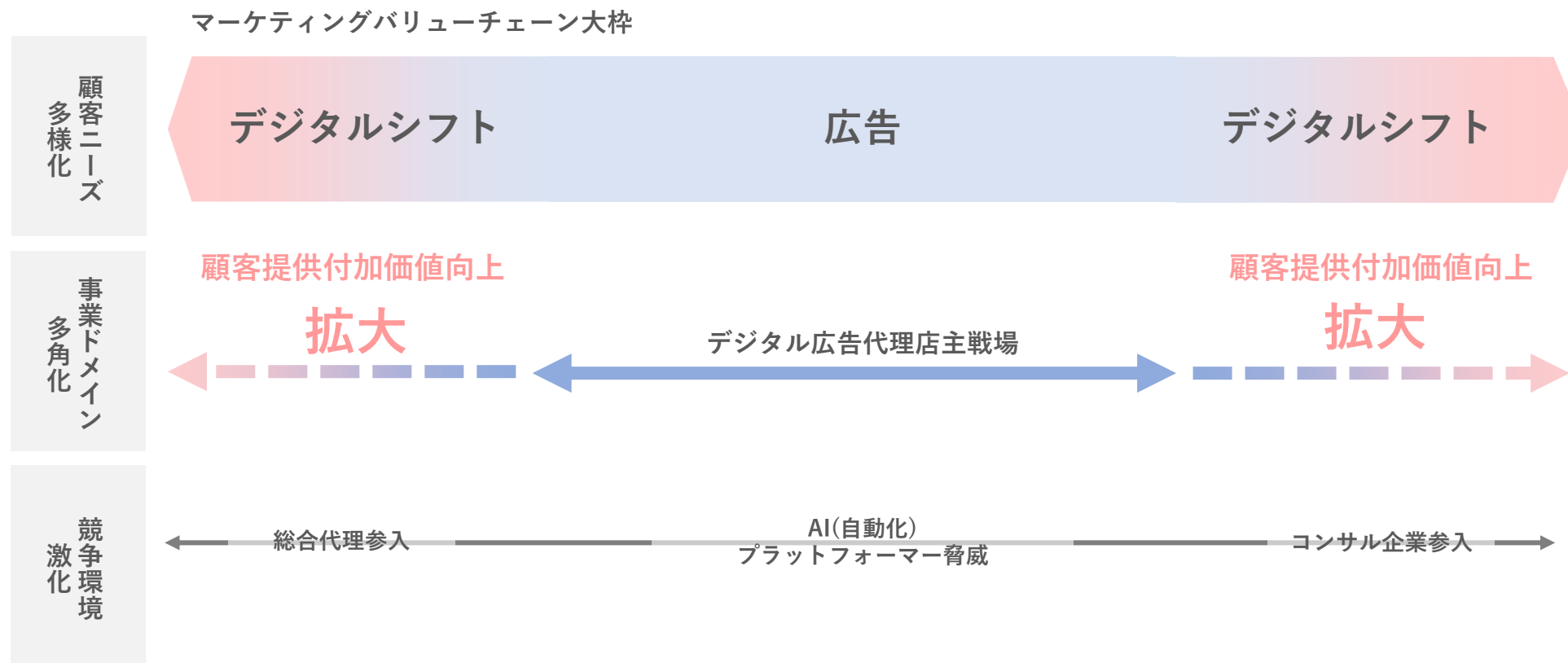
成長志向企業の売上・利益に直結する 独自の仕組みを提供



課題解決人材×ROIを追求したマーケティング関連データ×パートナー

*パートナー：取引先、メディア、プラットフォーム

ネットユーザーがこれ以上増えない国内において、広告とデジタルシフトは親和性が高く、顧客の売上・利益の成長に向けて、広告以外のサービス（デジタルシフト）拡大の必要性

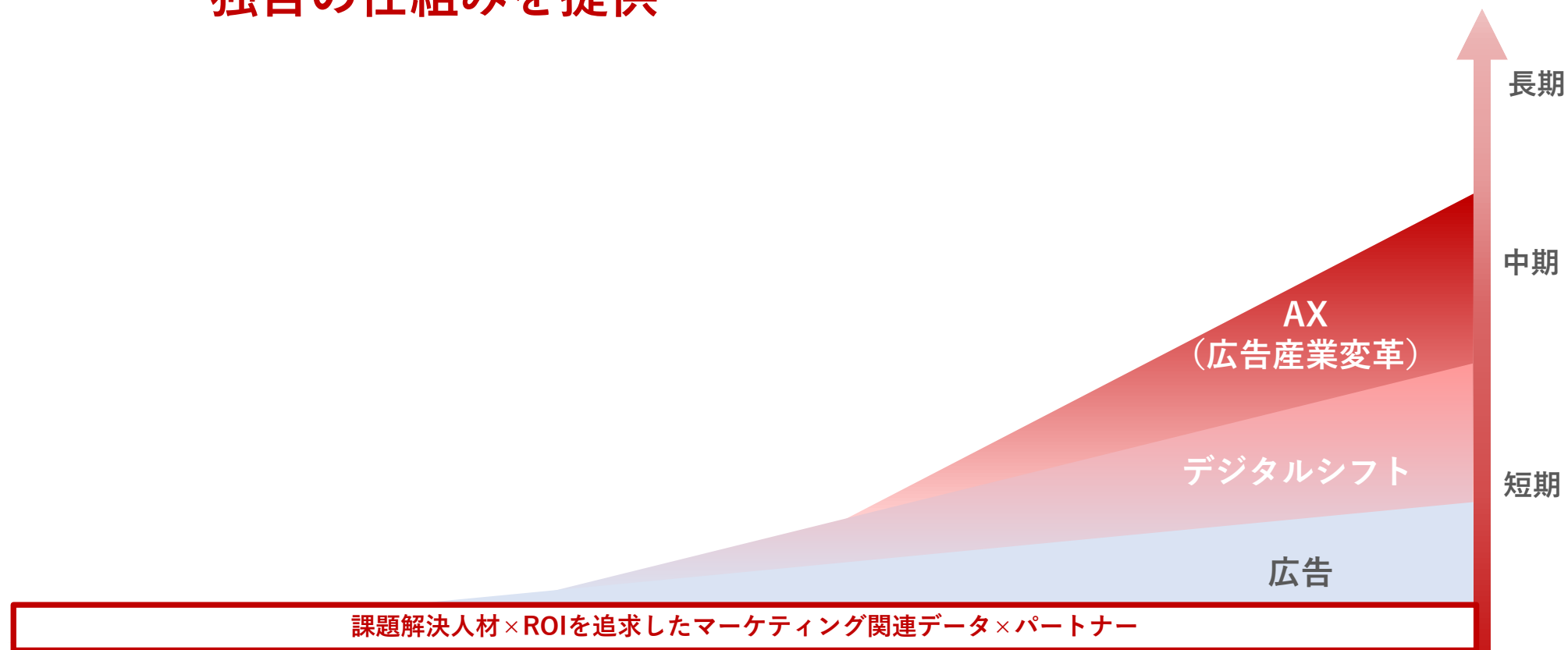


創業からの変わらぬ想い：

**成長志向企業の売上・利益につながる
独自の仕組みを提供**

産業変革(IX)による社会課題解決

(働き手の価値と企業・産業・社会の稼ぐ力の向上)



*パートナー：取引先、メディア、プラットフォーム

*AX：Advertising Transformation (広告産業の変革)

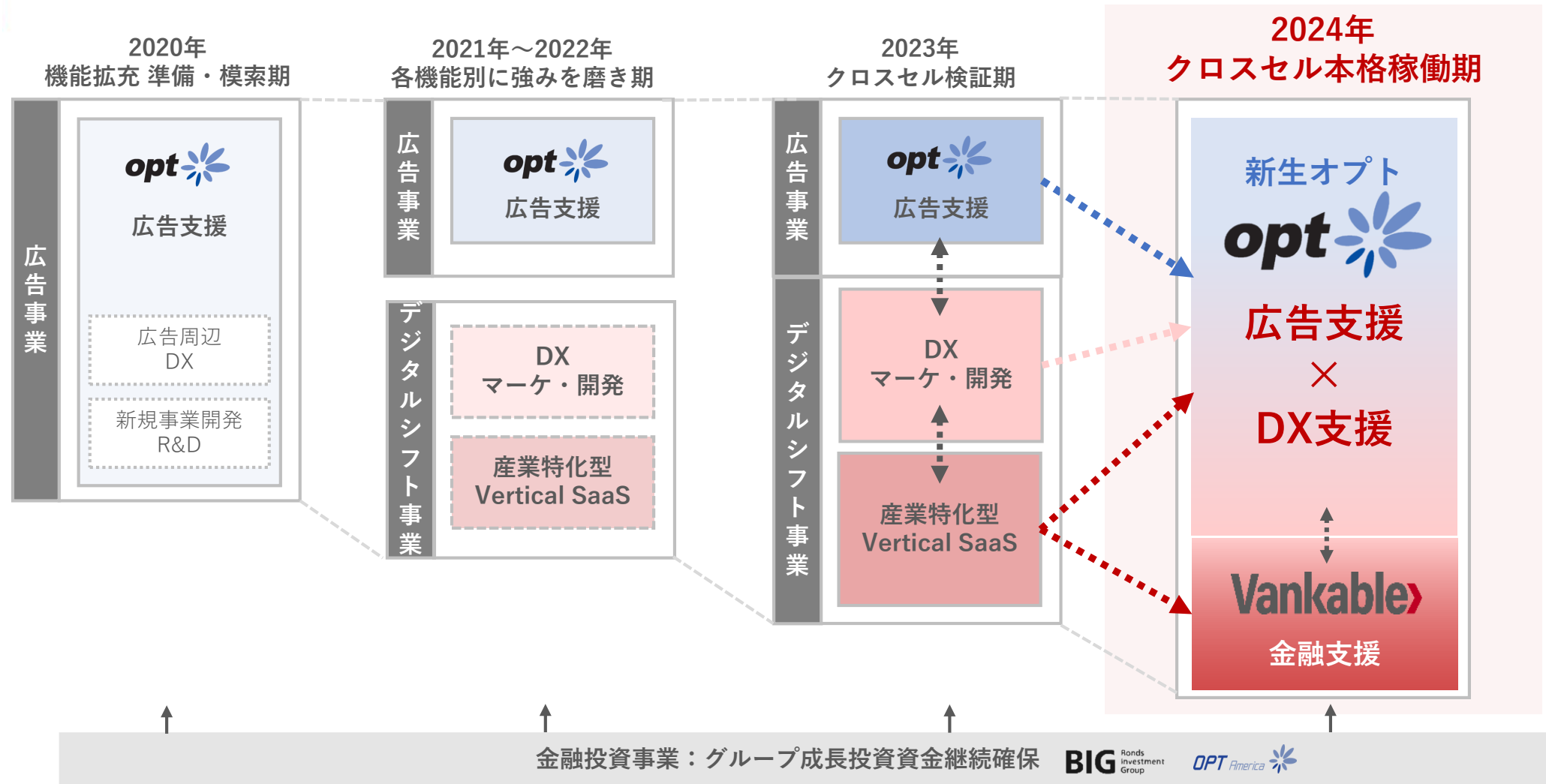
*IX：Industrial Transformation (産業変革)

3 中長期展望に向けた2024年の取り組み

1. グループアセット集約
2. 低シナジー事業の整理
3. AX成長加速

1. 進化を目的としたグループアセット集約

機能別に磨き上げてきたグループアセットを集約、顧客への提供付加価値進化

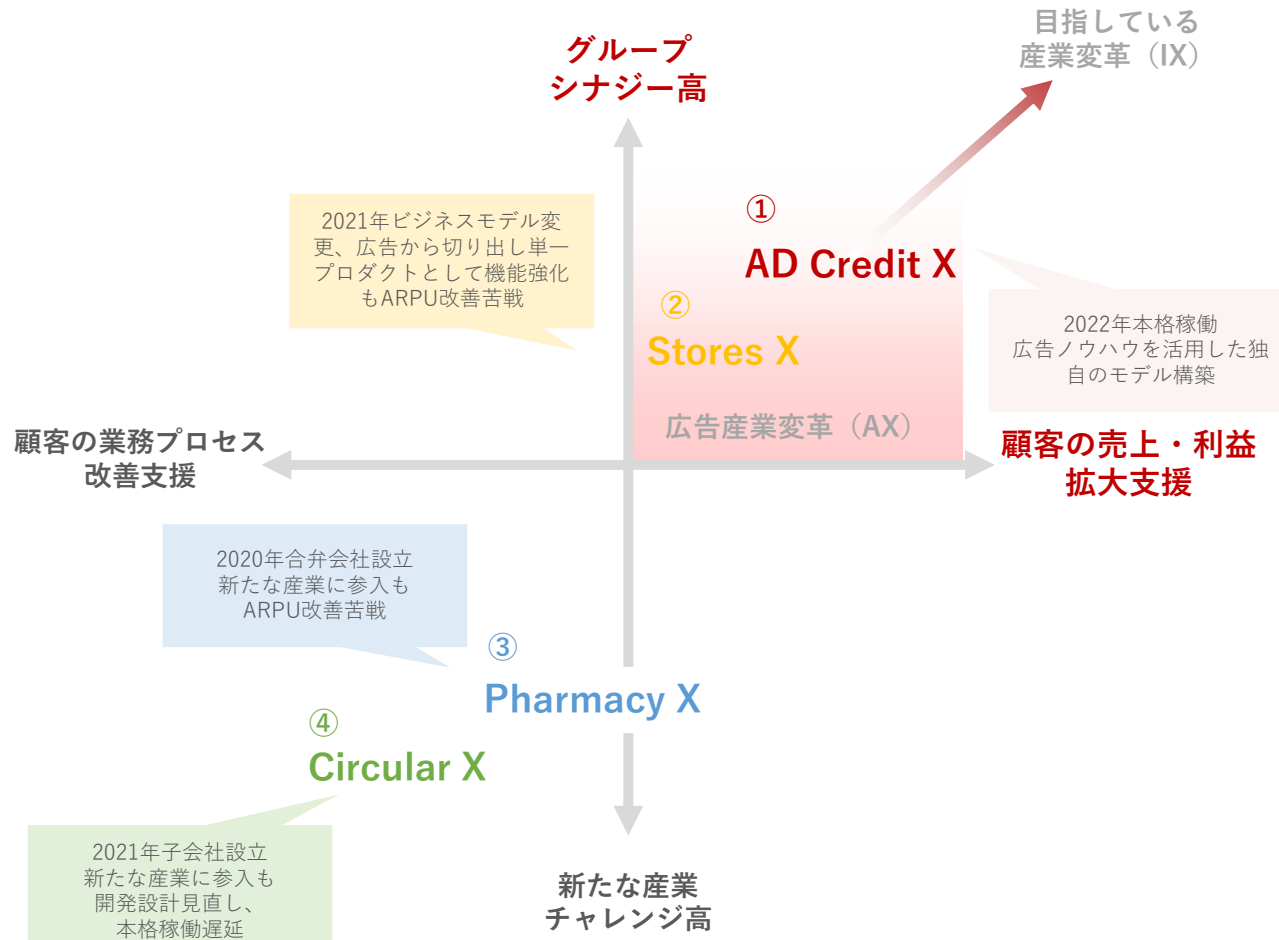


1. グループアセット集約
2. 低シナジー事業の整理
3. AX成長加速

2. 低シナジー事業の整理

複数の挑戦からみえた強みと可能性、今後はAD Credit Xにフォーカスし成長加速へ

IXの状況（新たなビジネスへの挑戦）



新たな投資方針に基づいた今後の方向性

① フォーカス

- ・ マーケ×金融の可能性拡大
- ・ 投資期から徐々に投資回収フェーズへ

AD YELL
STOCK YELL

② 2024年4月オプトに吸収合併

- ・ 強みであるマーケティング周辺に再度集中
- ・ グループ総合提案へ

トストア

③ 2023年11月株式/事業譲渡*

- ・ 事業成長を優先し、合併契約解消
- ・ 株式/事業を譲渡

つながる薬局

④ 2023年12月事業撤退

- ・ 新たな投資方針に基づき、事業撤退

JŌMYAKU

*詳細については、2023年11月7日公表の「合併会社（持分法適用会社）の合併契約解消と株式並びに事業譲渡に関するお知らせ」をご高覧ください。

1. グループアセット集約
2. 低シナジー事業の整理
3. **AX成長加速**

3. AX成長加速

創業来ROIを追求し続けたノウハウ・データをもとに独自の与信モデルを構築
運転資金を圧迫しない広告費に特化したBNPLサービス *1

ビジネスモデル

三菱UFJフィナンシャル・グループと協働



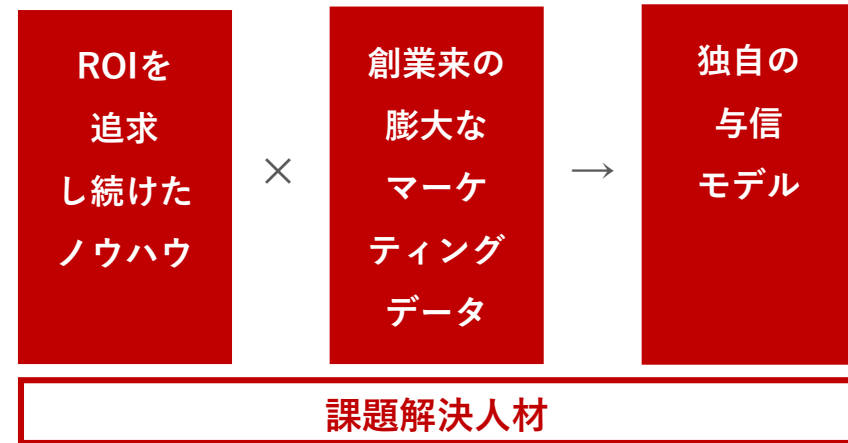
提携

* サービス提供の流れのイメージとなりますため、実際のビジネススキームとは異なります



私たちの強み

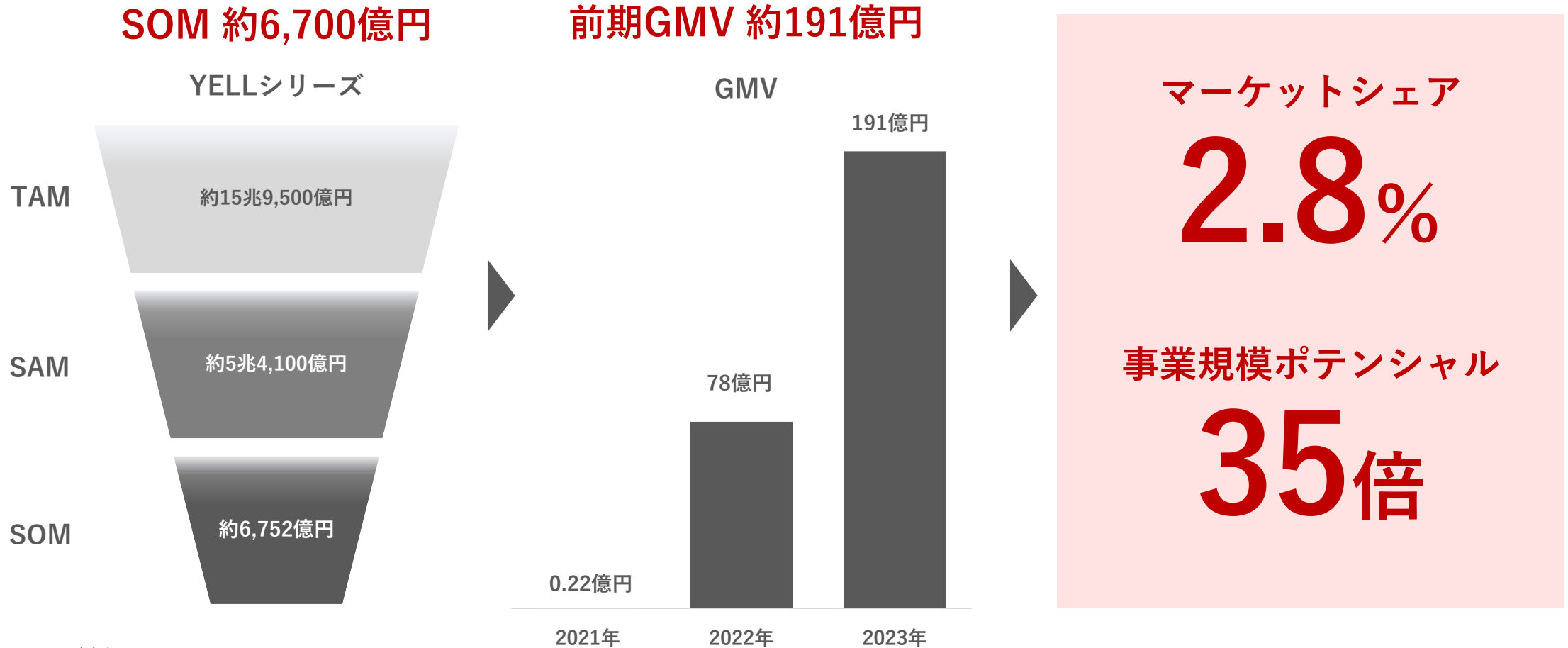
成長企業の売上・利益につながる支援



*1: 後払い式の決済手段「Buy Now, Pay Later」の略。信用調査が簡易なため、欧米・若年層を中心に市場の広がりがつづき、今後、さらなる市場規模の拡大が予測されており、BtoB向けサービスの広がりも注目を集めている
 *2: 当社100%子会社、2021年1月子会社設立
 *3: AD YELL概要 <https://vankable.co.jp/lp/>

3. AX成長加速：中長期の潜在ポテンシャル

ADYELL・STOCKYELLを中心としたYELLシリーズの市場規模（SOM）より
今後の事業成長ポテンシャルは現状の約35倍と想定

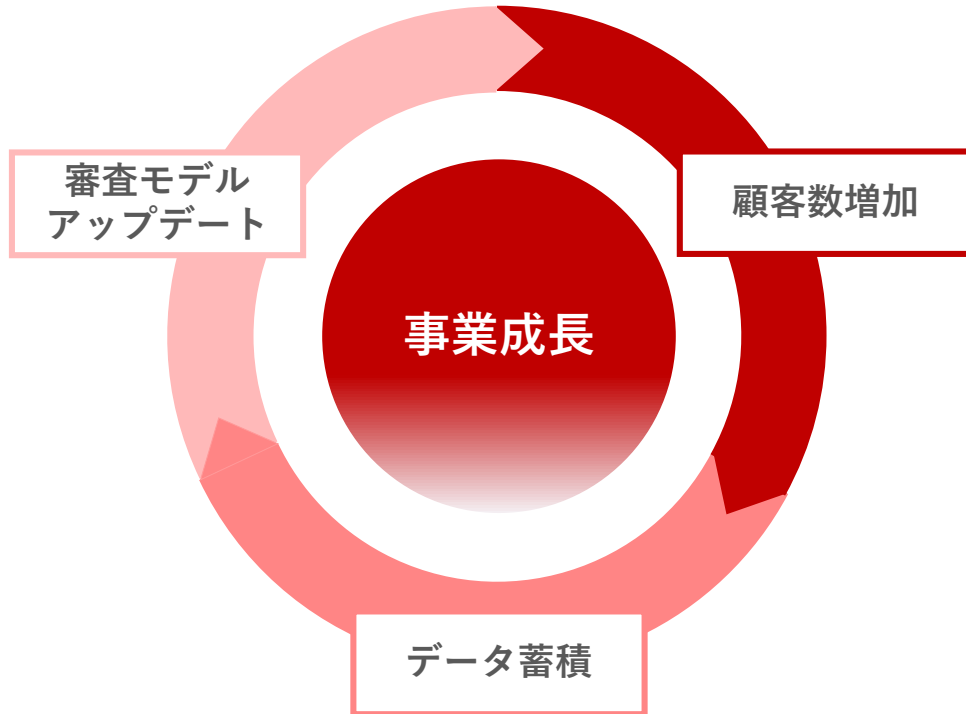


*TAMの考え方
 ・ADYELL/ADYELL PRO：インターネット広告市場から試算
 ・STOCKYELL：2021年EC市場（業種別）から試算

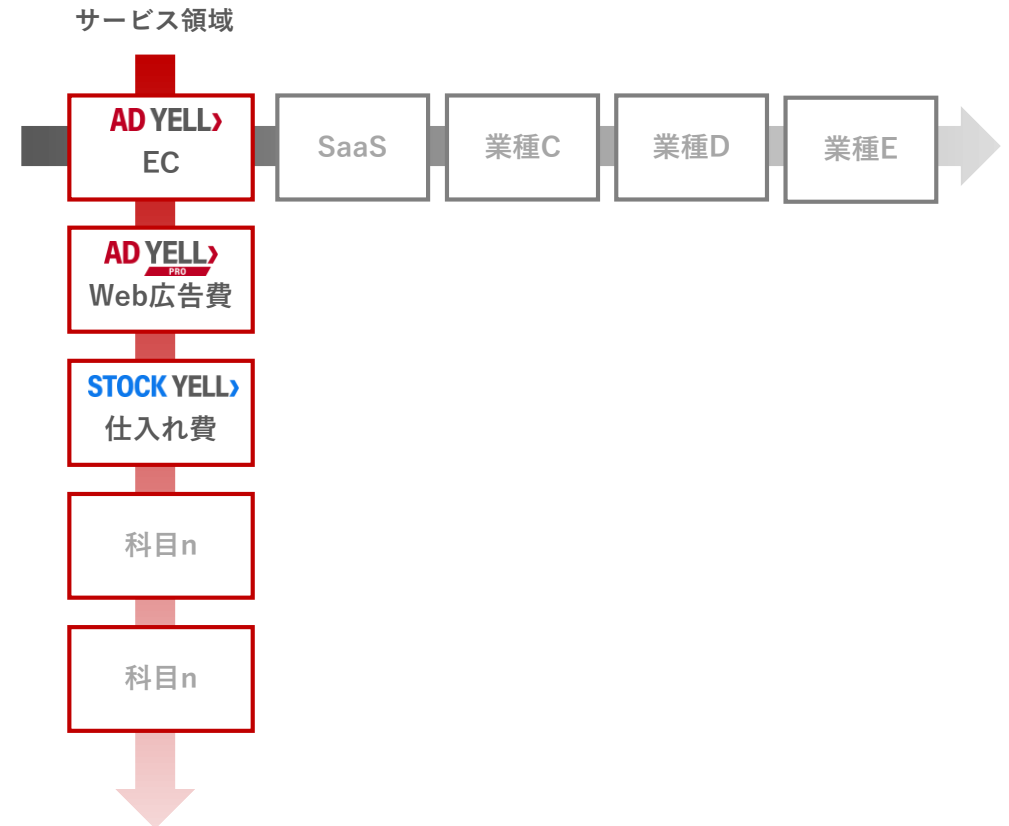
3. AX成長加速：中長期戦略

独自のサービス拡充と、データを元にした審査モデルのアップデートにより事業の拡大へ

事業成長における考え方



サービス領域の拡充と顧客層の拡大

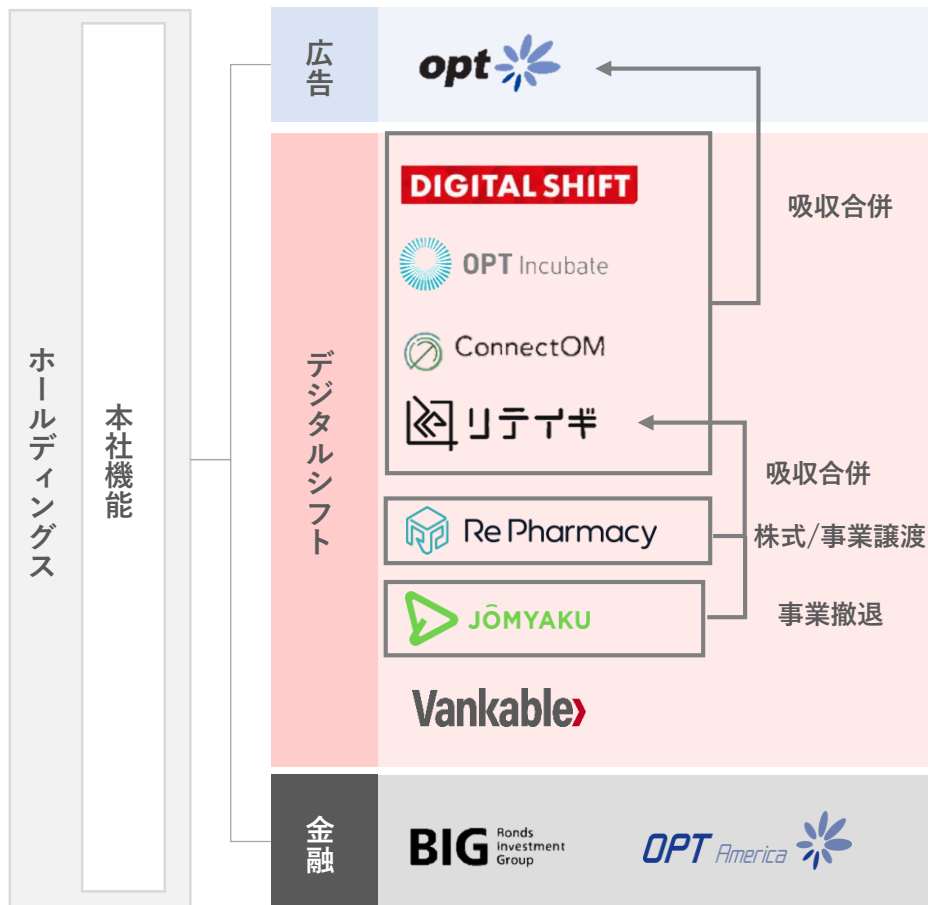


4 | 2024年度通期連結業績予想

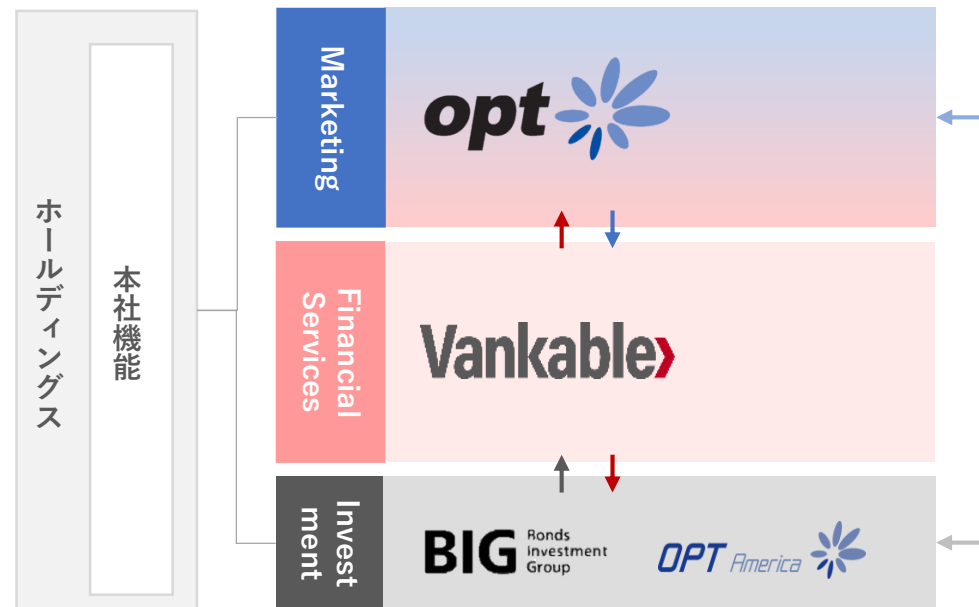
組織一体化と効率的な事業運営の実現へ

2024年Q1まで（連結子会社15社体制）

2024年Q2から（連結主要子会社4社体制）

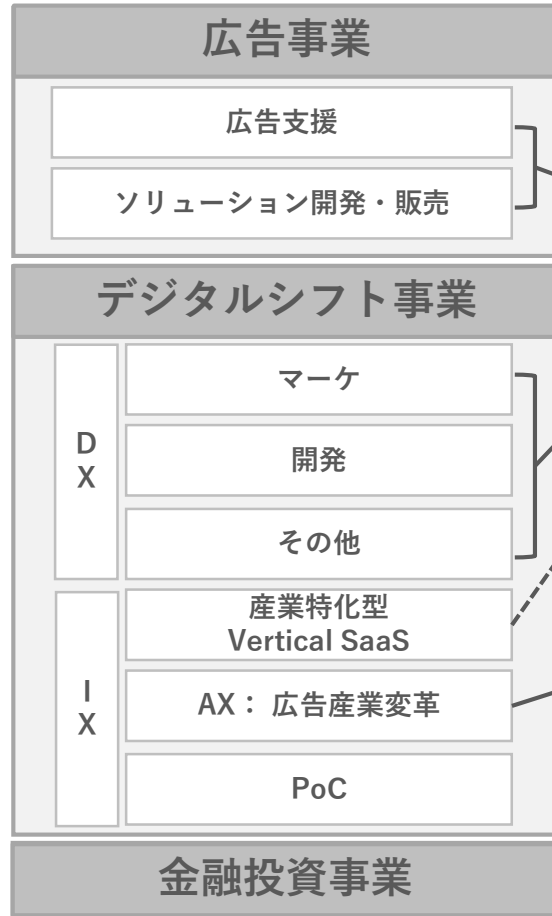


*主要子会社を記載

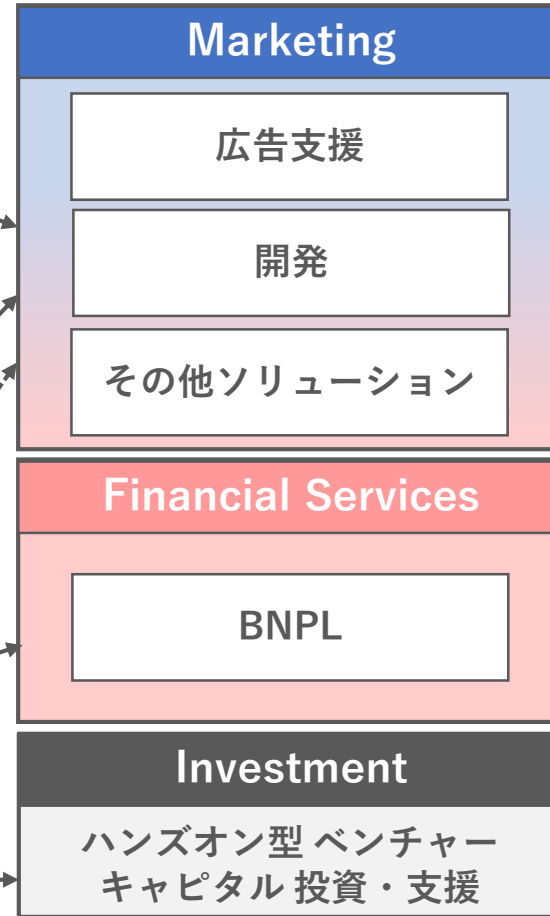


*主要子会社を記載

2023年Q4まで



2024年Q1から



グループアセット集結
 広告×DX総合提案加速

投資回収フェーズへ

成長資金継続創出

*DX: Digital Transformation (デジタルトランスフォーメーション)
 *IX: Industrial Transformation (産業変革)
 *AX: Advertising Transformation (広告産業の変革)
 *BNPL: 後払い式の決済手段「Buy Now, Pay Later」の略

*新セグメントの過去実績は順次公表予定

MarketingとFinancial Services増収増益により 連結営業利益も増益

(単位：百万円)	2023年 通期連結業績	2024年 通期連結業績予想	前年比	
			額	%
収益	16,264	15,200	(1,064)	(6.5)%
営業利益	616	650	+33	+5.5%
EBITDA	2,008	1,000	(1,008)	(50.2)%
親会社株主に帰属する 当期純利益	237	100	(137)	(57.9)%
(ご参考) 売上高	64,170	63,200	(970)	(1.5)%

- ・ **グループアセット集約：**
競争力アップ × コスト抑制 = フリーキャッシュフロー増加
- ・ **AX成長加速：**
GMV拡大 × 収益化 = PER向上

グループアセット集約 × AX成長加速 = 企業価値向上へ

* GMV：Gross Merchandise Valueの略、YELLシリーズで取引されている総額

* AX：Advertising Transformation（広告産業の変革）

デジタルを、未来の
鼓動へ。**DIGITAL**
HOLDINGS